

「 カーボン・オフセット」
に関する実施報告書

平成 23 年 月 日

1. 実施報告

1.1 実施の対象

表 1.1 に示す対象物において、カーボン・オフセットを行った。

表 1.1 対象物

対象物名称	
対象の概要	
オフセット対象とする活動	
対象とする期間、人数、距離等の情報	相当する排出量 償却量を上回る場

カーボン・オフセット
市民、企業、NPO/
量を認識し、主体的に
いて、他の場所でも実現
を購入すること又は作
と等により、その排出
(出典

サンプル

効果ガスの排出
分の排出量につ
ジット」という)
動を実施するこ
いて(指針)」)

地球温暖化対策の喫緊
世界の温室効果ガス
ます。こうした温室効果
ガス排出量を大幅に削減し、その濃度を安定させる必要があります。
気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 最新報告書 (AR4 第四次評価報告書) で
は、“今後 20~30 年に温室効果ガス排出削減努力とそれに向けた努力が、より低い安定化
濃度の達成に大きな影響を与える”とされています。

が予想されてい

(詳細は、「環境省 STOP THE 温暖化」パンフレットをご確認ください)

1.2 情報公開ガイドラインに基づくカーボン・オフセット実施状況

表 1.2 に示すとおりカーボン・オフセットを行った

表 1.2 カーボン・オフセット実施状況

クレジット タイプの説明	クレジットの種類	CER (国連認証排出削減量)
	認証プログラム名称	京都メカニズム (CDM)
	シリ	746 (t)
クレジットの 調達期限 通知方法	クレ 方法	000-00000-00179-00) 、日本政府口座への
	クレ 頻度	2011年 月 日に 対象顧客への通知方法 。 サービスを開始し、件数 を上回る場合には、 の償却を行う予定。 の発電プロジェクト
プロジェクト 情報	プロ	サンプル
	プロ	
	プロジェクトの排出削減・吸収量	
販売価格・その他 支払いに関する 事項	商品・サービス当たりの販売価格	無料
	消費者の価格負担 (料金上乘せ) 有無	消費者への価格負担は無し
	その他支払いに関する事項	

カーボン・オフセットの取組に係る信頼性構築のための情報提供ガイドライン (Ver.1.0)

【CO2排出量表示データ】

CO2排出量(CFP)データ		製品機能単位 対象とする製品、活動の内容	
	製品の排出量 (の算定方法 による)	に伴う環境負荷	$\times \text{CO2/円} = \text{t} \cdot \text{CO2}$ <small>(小数点以下切捨て)</small> 374 建物サービス】 t・CO2/百万円
		算定担当者	算定
	第三者認証	第三	

サンプル

【基礎データ】

項目	名称
基礎情報	会社名
	住所
	電話番号 FAX 番号
	担当者情報
	メールアドレス
	webサイト
	環境への取組
	紹介動画など

1.3 添付資料

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律第34条第2項に基づく算定割当量の振替について（通知）

2011年 月 日 無効化実施分（トン分）

株式会社 （口座番	002 6日
下記の に基づく ますので	真 い
算	サンプル
記	
振	
	環 境 省 経 済 産 業 省